

(別紙2 - 1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 25年 2月 8日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4270401500		
法人名	有限会社 春陽		
事業所名	有限会社 春陽 グループホーム 福田		
所在地	〒854 - 0001 長崎県諫早市福田町3346番地5		
自己評価作成日	平25年1月7日	評価結果市町受理日	平25年2月22日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	
--------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目七二一七 島原商工会議所一階
訪問調査日	平成 25年 1月 23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

“ ゆったりと その人らしさを 大切に ” の理念の基、入居者一人一人に対し、個人援助をするとともに、その人らしく、安心して生活していただける環境づくりに力をいれている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

当該事業所の前身が高齢者専用賃貸住宅であり、利用者一人一人の居室は広々としており快適な造りとなっている。社長、管理者の事業に対する熱い信念が窺え、お二人の、利用者や職員に対する温かな対応が、利用者と職員の一体感を生み家庭的で和やかな事業所となっている。また、地域との交流も盛んであり特に外出支援には力を入れており家族、地域住民も参加した各種行事も盛んで、地域にとっても頼りがいのあるホームである。

医療面においても看護師や歯科衛生士、食事面は栄養士も在籍しており、協力医指導の下バックアップも整えられ、安心感のある事業所である。

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>職員全員、常に意見を交感する場を持っており、入居者各個人のペースを崩さない声かけや誘導を目指し、その人らしさを尊重したケアの徹底にむけ、職員全員が理念の実践に取り組んでいる。</p>	<p>理念は職員全員で話し合い『その人らしさを大切に』との思いを込めて作成された。毎朝の申送り時、全体会議時、入職時等あらゆる機会に説明と話し合い、共有と実践に繋がっている。</p>	
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>地域の行事やイベントは夜間や早朝が多く、入居者の参加は難しいが、ホームの行事等へ地域の方の参加を呼びかけ多数の参加がある。日々の挨拶も定着している。</p>	<p>各種行事に職員が積極的に参加され顔馴染みの関係作りが出来ている。また、ホームの行事である敬老会、夏祭り、御節作り等に自治会長、班長を含め、住民の参加があり、利用者との交流も盛んである。</p>	
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>地域の方々との話のなかで悩みや相談があった場合、事業所として出来る事はなにかを考え、前向きに行動に移せるように努力している。</p>	/	/
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、その意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議では、事業計画や活動報告を行っている。出席者からの意見や質問に対しては次の開催時に検討した事の結果を報告している。ホーム内にて開催し現場の様子が見れるようにしている。</p>	<p>行事報告、意見交換など活発な話し合いが行われており行政担当者からも情報提供、問題提起がある。欠席者及び利用者家族への会議報告は議事録、資料を郵送している。</p>	

5	4	<p>市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議に市の担当者が出席していただき、わからない事や疑問に思っている事は相談にのっていただいている。</p>	<p>市の担当窓口とは事務的な相談、報告程度の関係であるが運営推進会議のメンバーである市担当者との連携が行われている。事業所便りは市窓口へも持参されている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>ホーム内で身体拘束ゼロ推進委員会を設置している。会議の際、全職員で日常のケアの中で常に身体拘束にならないか考え実践している。</p>	<p>毎月身体拘束ゼロについての目標を掲げ全職員出勤の行事後反省会を行っている。現在『綺麗な言葉遣い、安全な生活、報連相』が目標である。家族からの申出には見守りにて対応の説明を行っている。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>管理者・計画作成担当で研修会に参加し、その研修内容を全職員に周知した上で、委員会の開催、月間目標の設定を行い防止に努めている。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修等にはすすんで参加し、必要な時には活用できるようにしている。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約を結ぶ際にしっかりと説明し理解を得ていても、家族の意向は変化する場合がある為、十分に説明を行っている。</p>		

10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>現状は意見・要望はないが、意見箱を設置し記入していただくよう声かけしている。意見要望があれば、真摯に受け止め、迅速な対応に心がけている。</p>	<p>家族来所時等の機会に積極的な声掛けを行い、意見を汲み取っている。最近も玄関付近の臭いに気付かれた家族の意見を受け調査したところ浄水器故障が判明し修理を行った。</p>	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>日頃からコミュニケーションを図り意見を聞き出すようにしている。また、全体会議の際も職員の要望や考えを聞く機会を設けている。</p>	<p>日常の支援活動時、旅行等の機会を通じ職員とのコミュニケーションを行い、意見の把握に努めている。最近では職員提案により数名の利用者と初詣に外出された。</p>	<p>各種の機会に職員とのコミュニケーションを実施されている。共有化の為に備忘録程度で構わないので記録されることが望まれる。</p>

12	<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>代表者も職員と同様のシフトに入り、職員全体の勤務状況、職場環境について会議や個別に話し合いを行い各自のやりがいや向上心につなげられるように努力している。</p>		
13	<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修会等への参加を呼びかけ、多くの職員が参加できる体制を整えている。ホーム内でも勉強会を開催し、全体的な質の向上に努めている。</p>		
14	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会へ参加し他事業所との交流を持っている。他事業所の行事へ参加したり、一日研修を行っている。</p>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>訪問調査で本人の状況を把握し、本人との会話の中から不安な事等聞き出す努力を行っている。</p>		
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族の方が求めている事を理解し、入居者の状況や家族の意向等相談時や訪問調査時等に聞き出している。</p>		
17	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談を受けた時は当ホームだけの利用ではなく、他事業所や他のサービスも視野に入れた対応をしている。</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>職員全員が第二の家族という考えを持ち、入居者に寄り添い和やかな生活が出来るようにしている。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>今までの各入居者の生活歴や家族関係を理解し、行事に誘ったり一緒に過ごしてもらい、良い関係が継続出来るように心掛けている。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>各入居者の生活歴を把握し面会や外出の機会を絶やさないようにしている。</p>	<p>日々の支援活動で知りえた情報は介護記録に記載し共有している。家族、知人の来所時にも聞取りしており、墓参り、自宅改装時等随時外出支援を行い、関係継続に努めている。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>一人で部屋で過ごす事が好きな方もいらっしゃるが、なるべくみんなで過ごす事が出来るように声かけしている、。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>定期的に連絡をとり、相談にのっていた。</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>入居者一人一人の望んでいる暮らし、思い等を日頃の会話や表情の中から汲み取り職員全員で把握している。</p>	<p>本人、家族との会話の中で思いを把握し情報は個人記録、申送りノートで共有している。意思表示が難しい利用者については表情、行動により汲み取っている。</p>	

24	<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>訪問調査時に家族への聞き取りや入居者との会話の中から情報を集め聞き取るようにしている。記録に残し把握している。</p>		
25	<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>一人一人の一日の過ごし方を把握し、小さな事まで見逃さないようにしている。</p>		
26	<p>10 チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>入居者と話し合い、目標を設定している。家族の方に説明・同意を行う際に今後の希望や思いを聞き出すように努力している。</p>	<p>事前に本人、家族の希望を把握し担当者、管理者、作成責任者で話し合い作成している。見直し時も本人、家族の意向及びモニタリングの結果を基に話し合い、次回の目標設定を行い家族の同意を得ている。</p>	
27	<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>入居者の状態や変化は小さな事でも日々の記録に記載し、職員間で共有出来るようにしている。1ヶ月ごとにまとめを行い、介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28	<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>外出時の送迎やホーム面会時の宿泊等その時々生まれるニーズに出来る限り対応している。</p>		
29	<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>警察署や消防署より理解と協力を得ており、ホーム近隣には、班長宅や町内老人会会長宅があり、常に協力が得られている。</p>		

30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人や家族が希望するかかりつけ医に診てもらっている。かかりつけ医と連絡や相談をしながら、心身の変化や異常発生時に適切な医療が受けられるようにしている。</p>	<p>基本的に希望のかかりつけ医受診であり、受診時も職員が対応している。往診は協力医により行われているが、緊急時は職員及びそれぞれのかかりつけ医による24時間対応の体制が出来ている。</p>	
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護職員を配置している為、常に連絡や相談をしながら支援している。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>医療機関と情報交換し、早期退院に向けた支援をしている。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末期における方針について、入居者本人・家族と話し合い、共有すると共に、近隣の方々へ急変時や緊急時の対応について説明し、その際の協力について了承いただいている。</p>	<p>家族へ終末期に向けた事業所方針を説明し同意を得ている。以降継続し医師も含め関係者と話し合い確認を行っている。職員の心理的負担、緊急時対応については施設長、管理者を中心に体制作りを行っている。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>ホーム内の研修にて繰り返し勉強している。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的避難訓練を行い、入居者・職員共に訓練している。また、その際には消防署・消防設備会社・地域の方にも参加して頂いている。</p>	<p>備蓄として食料、飲料水数日分を確保、利用者の情報は緊急時持出用として一元化し、ファイルにて管理している。避難訓練時は隣接の住民も参加されており協力体制も出来ている。</p>	<p>事業所として、避難場所確保や家族に対する避難場所の周知の取り組みに期待したい。</p>

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者一人一人の人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねないような対応を行っている。	場面場面に応じ、利用者本人の思いを尊重した支援が行われている。呼称は基本的に名字であるが状況により、臨機応変に対応されている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者が分かりやすい言葉を選び、職員側で決めた事を押し付けるような事はせずに、本人が決める場面をつくっている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはあるが、入居者の体調や状況にあわせて各個人のペースで過ごされている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自分が着たい服を選んでもらったり、好みの髪型に出来るように入居者希望の美容院へお連れしたりしている。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事を楽しみにされている入居者が多数いらっしゃる為、皆で準備や片付けが出来る様になっている。食事の際は入居者と職員が同じ物を同じテーブルで食べ、楽しい雰囲気づくりに心掛けている。	栄養士によるカロリー計算をし、配慮した食事メニューを作成されている。食材の仕入れ、調理補助、片付け等利用者は能力に応じ、手伝いをされており職員の見守りの中、一人一人のペースに合わせ、賑やかに楽しそうな食事風景であった。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者一人一人の食事量・水分量の把握をし、栄養士を中心に栄養管理を行っている。入居者によっては刻み食やオニギリにし、食べやすいように工夫している。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	全入居者に対して、食後の口腔ケアを働きかけ、歯科衛生士を中心に実施している。		

43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>全入居者の排泄パターンを把握し、トイレ誘導をする事でトイレでの排泄を促している。心身の状況や時間帯に応じて下着やパット等の使い分けも行っている。</p>	<p>排泄パターンの把握、諸行動の前後等、プライバシーに配慮した声掛け誘導により支援を行っている。夜間は定期的見回りをしている。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>食事には野菜や果物を多く取り入れ、体を少しでも動かすように体操したりと、入居者一人一人にあった便秘予防に取り組んでいる。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>入居者の要望を取り入れながら入浴を楽しんでもらっている。夏場は就寝前の入浴も取り入れている。</p>	<p>入浴は各居室の浴室を順番に使用しており、季節湯の他、夏場等は就寝前の時間帯入浴も可能である。拒否の利用者については誘導若しくは、入浴日の変更により対応している。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>昼寝の時間を設けているが、昼夜逆転にならないように配慮し、日中の活動量を確保するようにしている。自然に入眠していただけるように、夜に向けての雰囲気作りをしている。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬の説明書は個人ファイルに綴じ、いつでも見れるようにしている。薬が変更になった時には通院記録に記載し、情報を伝達するようにしている。</p>		

48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>入居者一人一人に役割や楽しみがあり、それを尊重し、日々の生活を楽しく送れるように支援している。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>入居者一人一人の状態や希望に沿って出来るだけ戸外にお連れするように心がけている。個人の意見を聞き出し、行きたいところに行けるように支援している。</p>	<p>近隣スーパーへの買物、ラーメン店への食事、ボランティアの協力を受け、夜景見物など利用者の希望により、その都度外出の機会を設けている。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>高額な金額はトラブル防止の為、所持していただかないようにしている。お小遣い程度は自由に所持されている。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>入居者の希望に応じて「電話や手紙」の対応を行っている。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居心地よく過ごせるように写真や季節の装飾品を飾り、殺風景にならないようにしている。柚子湯や菖蒲湯等の季節感を味わったり、日常生活の音を取り入れる工夫もしている。</p>	<p>壁面には各種行事の写真、作品が掲示され、トイレの場所も解りやすく職員の清掃が行届き清潔である。音、光など環境にも配慮され、暖かで家庭的な雰囲気にも包まれた共用空間となっている。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングのソファや廊下の椅子・玄関先のベンチ等、自由に過ごせるような場所を用意している。</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者や家族と相談し、使い慣れた家具や装飾品、家族の写真を持ち込んでもらい、一人一人の好み・習慣にあった環境作りを行っている。	事業所の前身が高齢者専用賃貸住宅の利点を活かし、ゆったりとした居室で家族の宿泊も可能である。思い思いの家具、備品等を持たれており担当職員の支援の下、穏やかな生活振りが感じられる。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各居室入口やトイレ等表示し、状況に応じて環境整備に努めている。必要な場所には随時手摺り等を設置している。		
アウトカム項目					
56		職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない	
57		利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない	
58		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない	
59		利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない	
60		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない	
61		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない	
62		利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない	
63		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない	

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
		3, たまに
		4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3, あまり増えていない
		4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3, 職員の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3, 家族等の1/3くらいが
		4, ほとんどいない